

## アラフォーOLは旅行好き、生活には堅実さも

富山商工会議所

県内の景気情勢は、08 年以降の低迷から抜け出せないまま、賃金の伸び悩みや雇用状況の悪化もあり、個人消費の冷え込みが小売業を中心とした商業環境に大きな影を落としている。一方で中心市街地においては、大和富山店の移転やセントラムの開業など、中心市街地活性化計画に盛り込まれた各種事業が、着々と進められている。

本調査は、変化する商業環境に、より敏感に反応すると考えられる女性の中でも、「アラフォー」と呼ばれる 40 歳前後の OL を対象に、その消費動向とともに富山市内での消費の現状を探ることを目的に実施した。

### <調査結果の概要>

消費と貯蓄に対する基本的な姿勢は、60.7% がバランスを重視すると答え、堅実な生活スタイルを示す結果となった。また不況下で、生活態度が変化したか尋ねたところ、『生活全般を見直し節約する』や『自分の中で譲れないものは維持し、その他は節約する』など、少なからず節約意識が高まったとする回答が全体の約 3 分の 2 を占めた。

現在関心のあることとしては、自分や家族の健康が 1 番としながらも、子育てや旅行についてもたいへん熱心で、特に旅行に関しては 49.0% が年間で 1 番お金を費やしたとしている。また商品を購入する場所は、購入するものによって上手く使い分け、より良いものをより安く購入するためには、インターネットサイトによる通信販売も積極的に利用しているようだ。

最近 1 年間、買い物を目的に金沢の中心街・駅周辺を訪れたという人は全体の約 6 割に上った。また、金沢まで行く交通手段としては、自家用車が最も多く 76.7% だった。

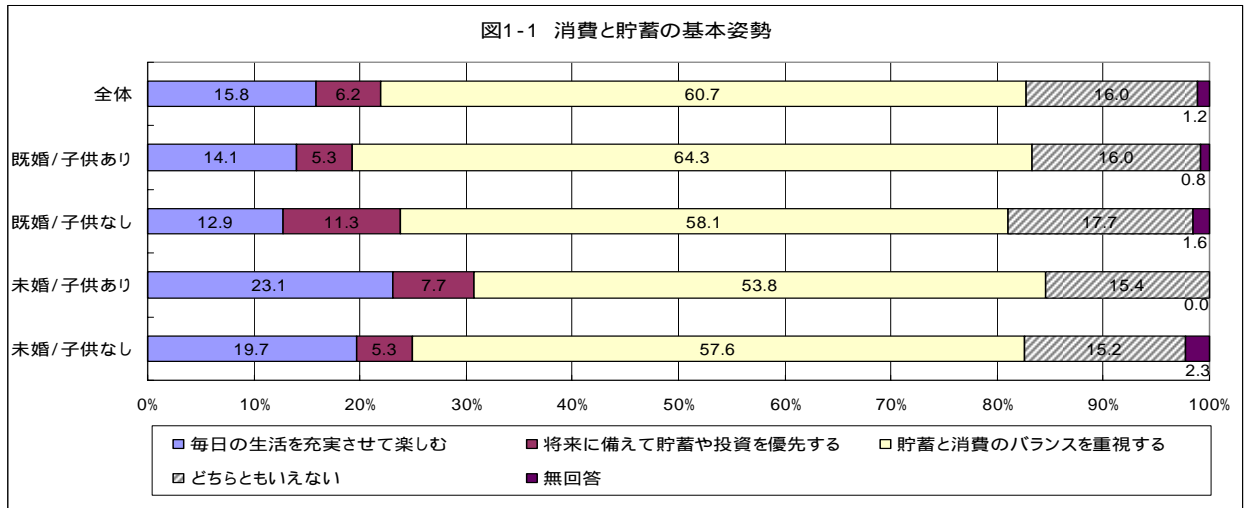
### 調査実施要領

調査実施時期	平成 21 年 12 月 28 日～平成 22 年 1 月 22 日
調査対象	当所の会員事業所及び主要官公庁（全 120 事業所）に勤める 35 歳～44 歳（昭和 40 年～49 年生）の女性従業員（職員）
調査方法	調査票を郵送し、郵送で回収した
有効回答数	回答事業所 67 事業所（回答率 55.8%）、有効回答数 486 件

## 調査結果

### 1. 消費と貯蓄に対する基本的姿勢

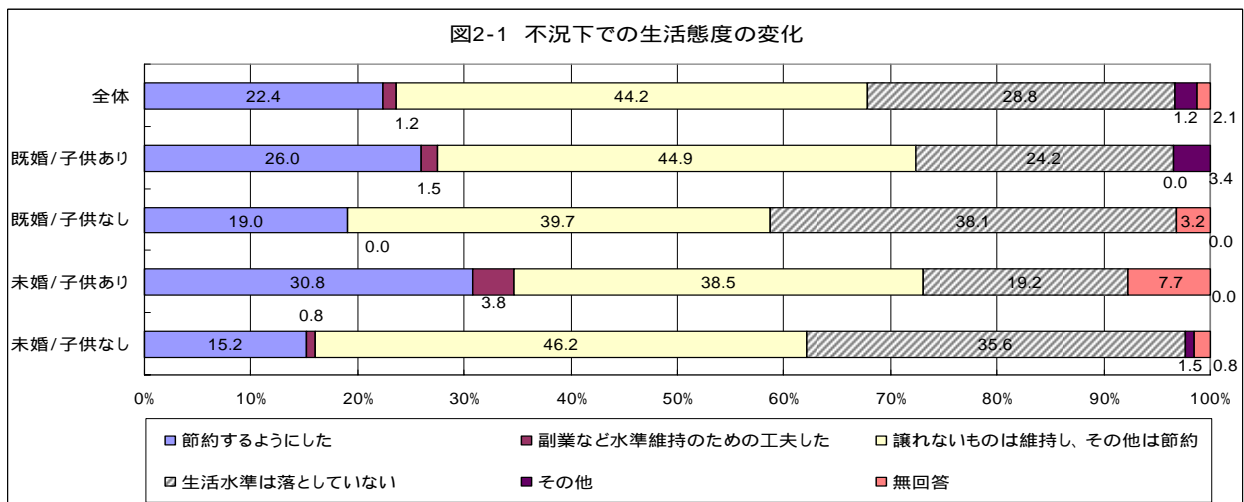
消費と貯蓄に対する基本的な姿勢を尋ねた結果が図 1-1 である。これによると「全体」では『貯蓄と消費のバランスを重視する』が 60.7%と最も多く、堅実な生活スタイルを示す結果となった。また『将来に備えて貯蓄や投資を優先する』が 6.2%だったのに対し、『毎日の生活を充実させて楽しむ』が 15.8%と高かった。「既婚」「未婚」「子供あり」「子供なし」別にみると、『毎日の生活を充実させて楽しむ』が「未婚/子供あり」で 23.1%、「未婚/子供なし」で 19.7%と高かった点が特徴的。



### 2. 生活や消費における価値観

#### (1) 不況下での生活態度の変化

08年以来の不況下で、生活態度は変化したかを尋ねたのが図 2-1 である。「全体」では『生活全般を見直し節約するようにした』が 22.4%、『自分の中で譲れないものは維持し、その後は節約する』が 44.2%と、少なからず節約意識が高まったとする回答が全体の約 3分の2を占めた。逆に『生活水準は落としていない』が 28.8%だった。しかし、「子供なし」の女性に限っては「既婚」・「未婚」とも『生活水準を落としていない』がそれぞれ 38.1%・35.6%と回答している。



(2) 現在関心のあること

現在関心のあることを3つまで尋ねた結果から、上位5項目を挙げたものが表2-1である。これを見ると、「全体」としては『家族の健康・介護』が53.7%、『自分の健康』が50.8%と、自分や家族の健康に非常に高い関心を持っていることがわかる。また「既婚」「未婚」「子供あり」「子供なし」別にみると、「子供あり」の回答で『子供の教育』と答えたのが「既婚」で59.6%（2位）、「未婚」で50.0%（1位）と上位を占めているのは、この世代の特徴といえる。家族のこと意外では、やはり女性らしく『旅行』や『美容』に関心が高く、その他「子供なし」の回答では、『食べ歩き』25.4%（5位）、『習い事・資格習得』25.8%（5位）など趣味・娯楽への関心の高さもうかがえる。

表2-1 現在関心のあること <上位5品目>

複数回答

	全体		既婚/子供あり		既婚/子供なし		未婚/子供あり		未婚/子供なし	
	項目	%	項目	%	項目	%	項目	%	項目	%
1	家族の健康・介護	53.7	家族の健康・介護	61.9	自分の健康	50.8	子供の教育	50.0	自分の健康	56.1
2	自分の健康	50.8	子供の教育	59.6	家族の健康・介護	49.2	自分の健康	42.3	家族の健康・介護	41.7
3	子供の教育	35.2	自分の健康	49.1	旅行	39.7	家族の健康・介護	42.3	旅行	33.3
4	旅行	24.1	旅行	15.8	美容	27.0	美容	23.1	美容	25.8
5	美容	17.9	景気	15.5	食べ歩き	25.4	旅行	23.1	習い事・資格取得	25.8

(3) 自己投資への条件

アラフォー・OLの自己投資への条件として、1ヵ月に自由に使えるお金を尋ねたのが図2-2である。「全体」の39.9%が『1万円以上3万円未満』だが、「既婚」「未婚」「子供あり」「子供なし」別にみると「既婚/子供なし」では52.4%、「未婚/子供なし」では、76.5%が1ヵ月で3万円以上を自由に使えるとしている。さらに、「未婚/子供なし」の33.3%、3人に1人が月に5万円以上を自由に使えるとしている。

